

正

新刊

香林齋

香林齋

香林齋

蘇軾詩集

蘇軾詩集

全

蘇軾詩集

全四卷
二百餘篇

慶應新刻

二百部
全同志

行餘集

全

葎屋藏梓

詞六
詩書

題行餘集



武弁學父固美偶有焉粗亦
湯易概不入格不足觀耳而
節奏得度格補合法去合於
此集見之善集中作者皆懷

慨愛世之士。其辭悲以壯。其氣
正以大。善教舞。讀者。是以
振頑興懦焉。乃公比公。庶之
什。歲人。以傳於不朽而有終
祚也。雖然。高山以下。元自身聲

高偉。聲名流布。日隆百。
固不談區。辭藻。惟斯人而
斯致。如乙與傳也。已。別祥
卷主人編集之。表。心。不出乎
此。

慶應三年丁卯春抄後子

真塾之末書六

古游後復

圖書

作者錄

上野人 高山彦九郎正之 四首

下野人 蒲生君平秀實 五首

水戸人 藤田次郎衛門一正 三首

江戸人 堀田棧津守正教 一首

肥後人 長岡監物是容 一首

水戸人 藤田誠之進應

計七首
長岡一首

水戸人 藤田一正女益子 一首

水戸人 戸田忠太史忠歌 二首

土浦人 大久保要親春 一首

安藝人 頼惟寛書標題 土首

作者拾人 歌六十六首

長調一首

行餘集

卷不知 高山正之

これとわらひやまらうりやうやをあらまの
あれまゝの名のうらけにけりしき

かきうやの園さう

あけさうひやうりやうやうさうひやの
きんも戸さうねんや

太田崎安の歌の連らん

むくきうりやうりやうりやうりやうりや
いせうりやうりやうりやうりやうりや

秋をゆくもよみ天晴秋のよみよみ

こぼれゆくもよみ秋のよみこぼれゆく

かたけり

こぼれゆくもよみ秋のよみこぼれゆく

こぼれゆくもよみ秋のよみこぼれゆく

如天へゆきゆく人をよみゆく

蒲生秀曼

つれなきよみ秋のよみつれなきよみ

秋のよみつれなきよみ秋のよみ

茶川の時よみ

まわつたをむくもわくやきくよはの
かみもわつたをむくもわくやきくよはの

常考打楽

まわつたをむくもわくやきくよはの
かみもわつたをむくもわくやきくよはの

如天

まわつたをむくもわくやきくよはの
かみもわつたをむくもわくやきくよはの

如天の如天

まわつたをむくもわくやきくよはの
かみもわつたをむくもわくやきくよはの

そとにけの敷——あつたねき

敷——収 洋田一正

ゆゑあつた君はうもふもふとけけの
直さこころをををををををを
けけけけけけけけけけけけけけけ
あつたあつたあつたあつたあつた
あつたあつたあつたあつたあつた
あつたあつたあつたあつたあつた

題ふか 堀田正敦

あつたあつたあつたあつたあつた

ゆゑあつたあつたあつたあつたあつた

あつたあつたあつたあつたあつた

あつたあつたあつたあつたあつた

長岡是吉

あつたあつたあつたあつたあつた

あつたあつたあつたあつたあつた

あつたあつたあつたあつたあつた

あつたあつたあつたあつたあつた

あつたあつたあつたあつたあつた

あつたあつたあつたあつたあつた

お節—こころおをよせや

すはましをすけり身もふれこころ
やすほこきぬきまこころをら

お節—はなをけりひまの国を
人こゆこころをこころをら

かまをけりこころをら
くらげ竹のうたやかたをら
汗のこころをら

お節—の世天のまをら
接ふさ—ひまをら

お節—こころをら
お節—こころをら

お節—こころをら
お節—こころをら

お節—こころをら
お節—こころをら

お節—こころをら
お節—こころをら